

## 研究課題名 がんの診断を受けた直後のメンタルヘルスケアにとって有効な手段の調査

### 1. 研究の対象

2019年1月より2019年12月および2020年1月より2020年12月に、新潟県立がんセンター新潟病院を受診した患者。このうち上記期間に、新潟県立がんセンター新潟病院において受療していない、またはがん患者でない患者は除きます。

### 2. 研究目的・方法

がん患者の自殺は、診断後早期に生じやすいことが知られていますが、自殺で亡くなった患者は、精神科受療していないことが多く、自殺で亡くなったがん患者も精神科受療等のメンタルケアにはつながっていないことが推測されます。特に、がん診断直後の自殺を予防するためには、診断告知時より、心理的な不安に対応することが重要と思われます。そのため、医師による診断告知時に看護師も同席し、告知後の心理的な不安について看護師が対応し、必要に応じ精神科受療につなげる体制を構築していくことを目的としています。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2021年 12月 31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

がん患者指導管理料イ、ロの算定有無、ICD-10コードがF3,F4の有無、入院精神療法Ⅰ、入院精神療法Ⅱ、通院精神療法のいずれかが算定有無、年齢、性別、がん種（TNM分類）、精神科診断の詳細、がん告知前の精神科受診の有無、初診か否か、既往歴、合併症、化学療法、放射線療法の有無

### 4. 外部への試料・情報の提供

氏名、イニシャルは本研究の調査項目に含まれず、カルテ番号も収集しません。研究対象者の個人情報とは無関係の記号を付し、一見して個人が特定できないように匿名化し、対応表はパスワードを設定しスタンドアロンPC(インターネット・イントラネットいずれにも接続しないPC)で管理します。研究対象者の個人情報は、本研

究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう管理・保管し、県立がんセンター新潟病院の臨床研究に関する個人情報等の取扱い手順書に従います（管理責任者：研究責任者 本間 英之）。また、本研究に関連したデータシートなどを用いる場合には、識別コードを用い研究対象者を匿名化することで、被験者を特定できる情報は記載しないようにし、秘密を保全します。

完全な匿名化の上で、データは横浜市立大学精神医学教室に電子媒体の形式で提供されます。

## 5. 研究組織

新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア科 本間 英之

新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア科 中島 真人

横浜市立大学 精神医学教室 井上 佳祐

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア科

当院研究責任者：本間 英之

連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

TEL：025-266-5111

研究代表者：本間 英之

新潟県立がんセンター新潟病院